



## 2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所 東  
 コード番号 7809 URL <https://company.kotobukiya.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 清水 一行  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 村岡 幸広（TEL）042-522-9810  
 半期報告書提出予定日 2025年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	6,754	△8.4	226	△51.4	210	△51.1	138	△52.6
2024年6月期中間期	7,376	△24.9	466	△72.5	430	△73.5	293	△73.9
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年6月期中間期	17.43		17.28					
2024年6月期中間期	36.95		36.50					

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	11,954	7,074	59.2
2024年6月期	12,034	7,215	60.0

（参考）自己資本 2025年6月中間期 7,074百万円 2024年6月期 7,215百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	3.8	1,700	2.6	1,664	4.0	1,154	4.6	145.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年6月期中間期	8,487,900株	2024年6月期	8,444,700株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年6月期中間期	510,021株	2024年6月期	510,021株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年6月期中間期	7,962,500株	2024年6月期中間期	7,930,582株
-------------	------------	-------------	------------

(注) 期末自己株式には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2025年6月期中間期 301,600株、2024年6月期 301,600株）が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2025年6月期中間期 301,600株、2024年6月期中間期 302,709株）が含まれております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間期に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間貸借対照表 .....	5
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当中間期に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善及び依然として好調なインバウンド需要等により、緩やかな回復基調が続いているものの、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢に起因する国内外の経済活動への影響、米国の関税政策、急激な為替変動及びエネルギー・原材料価格の上昇などにより、先行きが非常に不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社は世界各国の顧客ニーズに合わせた魅力ある新製品開発を行うと共に、自社IP (Intellectual Property: キャラクターなどの知的財産) による製品開発に特に注力してまいりました。

国内市場におきまして、プラモデル製品の展開では、自社IP製品『アルカナディア』より「ソフィエラ」、自社IP『フレームアームズ・ガール』と他社IP『勇者王 ガオガイガーFINAL』のコラボレーション商品の「クロスフレーム・ガール ガオファイガー」及び自社IP製品『メガミデバイス』より「朱羅 忍者 枢」及び「朱羅 弓兵 絆」等を発売し、これらの製品が当該期間の売上に貢献しましたが、美少女プラモデル市場においては依然として企業間競争が激しいこと、当該期間における販売製品の点数が減少したことを要因として、当該カテゴリー全体としての売上は伸び悩みました。

他方、フィギュア製品の展開では、他社IP製品では『葬送のフリーレン』より「フリーレン」、自社IP製品では、『ARTIST SUPPORT ITEM』より「ハンドモデル/R -GRAY-」を発売し、これらの製品が当該カテゴリーの売上に貢献したものの、前年同期と比較して売上を牽引するようなヒット製品の点数が減少した結果、当該カテゴリー全体としての売上は伸び悩みました。

また、直営店舗における小売販売につきましては、引き続き『VTuber』関連商品が堅調に推移したこと及び訪日外国人客の来店者数が依然として好調であることを主要因として各店舗の売上は増加しました。

北米地域におきましては、ロサンゼルスにて開催された「アニメエキスポ2024」及びサンディエゴにて開催された「サンディエゴ・コミックコンベンション2024」に出展し、新製品及び当事業年度中に立ち上げ予定の直営ECサイトについてのプロモーション活動を積極的に行いました。一方で当該期間においては顧客のニーズにフィットした商品を効果的に投入することができず、その結果、当該地域の売上は前年同期と同水準程度となりました。

アジア地域におきましては、国内市場と同様、自社IP製品『アルカナディア』より「ソフィエラ」等のプラモデル製品の売上が堅調に推移したことを主要因として、当該地域の売上は前年同期と同水準程度となりました。

当事業年度の計画は、前事業年度に引き続き製品リリースのタイミングが下半期に集中していることや、上記の状況に起因する販売数量減少の結果、当中間会計期間の売上高は6,754,907千円(前年同期比8.4%減)、営業利益は226,598千円(前年同期比51.4%減)、経常利益は210,305千円(前年同期比51.1%減)、中間純利益は138,757千円(前年同期比52.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の総資産は11,954,866千円となり、前事業年度末に比べ80,077千円(0.7%)の減少となりました。

#### (流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は7,973,628千円で、前事業年度末に比べ155,603千円(1.9%)減少しております。これは現金及び預金の増加206,078千円、商品及び製品の増加168,572千円並びに前渡金の増加442,389千円があった一方で、売掛金の減少1,053,044千円があったことが主な要因であります。

#### (固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は3,981,237千円で、前事業年度末に比べ75,526千円(1.9%)増加しております。これは建物の減少16,563千円があった一方で、投資その他の資産の増加97,397千円があったことが主な要因であります。

#### (流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は2,531,162千円で、前事業年度末に比べ215,312千円(9.3%)増加しております。これは、買掛金の増加244,966千円があったことが主な要因であります。

#### (固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は2,349,107千円で、前事業年度末に比べ154,041千円(6.2%)減少しております。これは長期借入金の減少165,406千円が主な要因であります。

#### (純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は7,074,596千円で、前事業年度末に比べ141,347千円(2.0%)減少しております。これは中間純利益138,757千円の計上があった一方で、配当金の支払288,269千円があったことが主な要因であります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ139,971千円増加し、1,286,729千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前渡金の増加額442,389千円及び法人税等の支払額117,978千円等の資金の減少要因があった一方で、税引前中間純利益210,305千円の計上、減価償却費574,356千円の計上及び売上債権の減少額1,053,044千円による資金の増加を主な要因として、1,192,057千円の収入となりました(前年同期は612,032千円の収入)。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出500,422千円及び関係会社出資金の払込による支出86,820千円等の資金の減少を主な要因として、677,580千円の支出となりました(前年同期は743,006千円の支出)。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入200,000千円及び長期借入れによる収入100,000千円等の資金の増加があった一方、長期借入金の返済による支出392,212千円及び配当金の支払額288,107千円等による資金の減少を主な要因として372,154千円の支出となりました(前年同期は113,700千円の収入)。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年8月14日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更ありません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

	(単位：千円)	
	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,964,420	3,170,498
売掛金	2,586,824	1,533,780
商品及び製品	1,304,378	1,472,951
仕掛品	542,044	609,391
貯蔵品	6,674	5,825
前渡金	269,933	712,323
前払費用	448,268	384,709
その他	26,871	84,149
貸倒引当金	△20,182	-
流動資産合計	8,129,232	7,973,628
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,584,229	1,567,666
土地	802,784	802,784
その他(純額)	713,380	711,097
有形固定資産合計	3,100,394	3,081,548
無形固定資産	142,711	139,686
投資その他の資産	662,604	760,002
固定資産合計	3,905,710	3,981,237
資産合計	12,034,943	11,954,866
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	420,162	665,129
短期借入金	300,000	500,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	690,675	563,869
未払法人税等	132,281	84,780
賞与引当金	57,747	53,255
その他	614,983	564,127
流動負債合計	2,315,850	2,531,162
固定負債		
長期借入金	1,975,600	1,810,194
株式給付引当金	32,198	38,302
退職給付引当金	180,685	186,966
役員退職慰労引当金	248,350	247,375
資産除去債務	21,129	21,083
その他	45,186	45,186
固定負債合計	2,503,149	2,349,107
負債合計	4,818,999	4,880,269
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	459,424	463,507
資本剰余金	421,924	426,007
利益剰余金	6,640,079	6,490,567
自己株式	△305,485	△305,485
株主資本合計	7,215,943	7,074,596
純資産合計	7,215,943	7,074,596
負債純資産合計	12,034,943	11,954,866

## (2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,376,647	6,754,907
売上原価	5,152,442	4,766,052
売上総利益	2,224,205	1,988,855
販売費及び一般管理費	1,758,026	1,762,257
営業利益	466,178	226,598
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	338	650
受取手数料	86	120
助成金収入	-	1,000
保険解約返戻金	601	394
その他	524	604
営業外収益合計	1,550	2,770
営業外費用		
支払利息	10,293	11,681
為替差損	26,571	6,988
その他	409	391
営業外費用合計	37,274	19,062
経常利益	430,454	210,305
税引前中間純利益	430,454	210,305
法人税、住民税及び事業税	142,394	71,349
法人税等調整額	△4,983	198
法人税等合計	137,411	71,548
中間純利益	293,043	138,757

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	430,454	210,305
減価償却費	558,691	574,356
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,094	△4,491
株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,400	6,103
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,736	6,281
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,275	△975
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	△20,182
受取利息及び受取配当金	△338	△650
助成金収入	-	△1,000
支払利息	10,293	11,681
為替差損益(△は益)	16,885	1,734
売上債権の増減額(△は増加)	149,466	1,053,044
棚卸資産の増減額(△は増加)	267,979	△235,071
仕入債務の増減額(△は減少)	△45,840	244,966
前渡金の増減額(△は増加)	△142,539	△442,389
前払費用の増減額(△は増加)	63,587	63,835
その他	△280,916	△147,175
小計	1,051,228	1,320,373
利息及び配当金の受取額	344	540
利息の支払額	△10,335	△11,877
助成金の受取額	-	1,000
法人税等の支払額	△429,205	△117,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	612,032	1,192,057
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,509,629	△1,446,114
定期預金の払戻による収入	1,440,608	1,380,007
有形固定資産の取得による支出	△619,292	△500,422
無形固定資産の取得による支出	△52,857	△18,294
関係会社出資金の払込による支出	-	△86,820
その他	△1,834	△5,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	△743,006	△677,580
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	700,000	200,000
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△340,942	△392,212
株式の発行による収入	850	8,164
配当金の支払額	△246,208	△288,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,700	△372,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,133	△2,351
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32,406	139,971
現金及び現金同等物の期首残高	1,557,676	1,146,757
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,525,269	1,286,729

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。